

議会運営

議案審査については、6月、12月議会は3常任委員会に分割付託し審査することにした。

一般質問については持ち時間30分で行うと決定し、9人の議員から質問通告が提出され、2日間行うこととした。

質問通告についての答弁書提出は、試行的に1人分を参考にして推移をみながら議運で協議していきたい。

出前議会は強制的なものではないので、議運正副、及び3常任正、副委員長で協議していきたい。



写真 福島県桑折町視察研修

建設

閉会中の建設委員会に付託された5議案について報告します。

1 上水道事業経営

平成17年度漏水調査、配水管総延長距離138キロメートルを調査、配水施設から漏水16ヶ所、給水施設から漏水51ヶ所、計67ヶ所の漏水を発見修理完了。

2 下水道事業の推進

下水道水洗化状況5月末現在処理区域人口3万761人に対して水洗化人口2万7,521人で水洗化率は90・69%

3 都市計画道路 志免・宇美線の整備

事業主体は福岡県、宇美町起点より1,230メートル、用地買収は20%終了。

4 宇美川復旧促進

水車橋上流の志免町助成事業区間の進捗状況は平成18年度100%の予定、水車橋下流の復緊事業区間については、平成18年度60%の予定。主な残りの事業区間は南里本井堰上下流の久保田橋から日枝橋区間及び亀山橋下流区間。

5 開発負担行為について

本年度より本件について付託を受ける、現在町内での大規模開発行為は2ヶ所が予定、計画されている。

宇美川工事事故報告

4月10日の降雨により根固め工事中の亀山新橋上流右岸が100メートルにわたり崩壊した。降雨量及び降雨時間が平年の平均を大きく上回り不可抗力の事故との報告を県担当より受けた。尚梅雨期前に修理は完了した。



写真 宇美川河川工事



総務

学校教育と運営について

17年度教育相談の内訳として、電話相談430件、来室相談578件、合計1008件、内容としては、就学、進学関係344件34%、不登校関係249件25%、この2件の相談が60%となっていることから、この点を早急に充実させる必要がある。

又、不登校児童、生徒の実態として、17年度では小学校7人、中学校33人、合計40人前年度より7人減ということだがこの内5人は志免中の不登校対応教室に通っており成果も出ている。来年度は東中にも設置するという事でしたが当委員会として早急に開設するよう要望した結果、今年度4月に設置された。

その60%近くが1年生ということ、小学生

から中学生になったの中心ギャップといわれる不登校が多いことから、小中連携の重要性がみられる。

学校教育の主要施策として、

① 不登校に対応する生徒指導態勢の充実のため9年間をひとまとめた生徒指導の推進を掲げ、小・中合同生徒指導委員会を設置する。

個人に応じた授業を目指す特別支援教育推進という事で小・中合同特殊学級担当者会の充実。

② 学校の信頼度を高める学校評価システムづくり。

④ 教育行政の目標と主要施策を具体的に実現していくことが大事なので教職員の資質の向上、指導方法の研修の充実を早急に行うよう提言した。

行財政改革について

行政経営改革実行計画の進捗状況がまとまった。17年度から5年間を実施期間とする行財政改革を真の自立、再生のための基礎づくりと位置づけており、行政評価と住民と行政の協働を核として行政の体質や仕組づくりを改革、改善していくというもの。

内容の一部を紹介すると、企画財政課、総務課においてまちづくり懇談会の開催については、目的として、町長以下幹部職員等が地域に向き、特定の政策やテーマについて住民に説明や情報提供を行い意見交換をする。現在実施回数は5回行っている。

今年4月から住民との協働のまちづくりの一環として町の職員が地域の学習会に向き、出前講座を実施している。

内容としては33項目にわたりテーマを掲げ、住民の要望に応じて講座をやっている。

長期継続契約を締結することが出来る契約を定める条例の制定

賛成多数で採択。

議会最終日報告

志免町国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例

志免町国民保護協議会条例制定

県の資料などを参考にさらに詳しく熟知する必要があるため継続審査とする。

平成18年度一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ4,07万1,000円を追加し歳入歳出総額を96億1,407万1,000円とするもの

賛成多数



写真 志免南小学校プール授業